

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和 2 年 1 1 月

白河地方広域市町村圏整備組合  
管理者 鈴木 和 夫

## 白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の業務の状況について

### 1 令和元年度決算の概要

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業会計の令和元年度決算が、去る 8 月 7 日に開かれた当組合議会 8 月定例会において認定されましたのでお知らせします。

#### (1) 総括事項

##### イ 給水状況

本年度の年間総送水量は、前年度に比べ 63,017 m<sup>3</sup>減少して 7,430,366 m<sup>3</sup>になりました。

また、有収水量は、前年度に比べ 60,708 m<sup>3</sup>減少して 7,371,411 m<sup>3</sup>となりました。

##### ロ 財政状況

本年度の収益的収入及び支出につきましては、収入が 1,095,881,804 円（税込 1,155,285,835 円）に対し、支出は 872,560,811 円（税込 928,126,495 円）となり、差引 223,320,993 円の純利益となりました。

資本的収入及び支出につきましては、収入が 38,932,000 円（税抜 38,932,000 円）に対し、支出は 408,530,190 円（税抜 405,458,009 円）となり、不足額 369,598,190 円が生じましたが、これは過年度分損益勘定留保資金 159,425,536 円、減債積立金 207,006,473 円、建設改良積立金 94,000 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 3,072,181 円で補てんしました。

以上が令和元年度水道用水供給事業の概況であります。

なお、今後も安全で安心な水の安定供給を目標に事業を実施するとともに、健全かつ合理的な水道用水供給事業の運営に努めてまいります。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分			予 算 額					決算額	地方公営企業法 第26条第2項に よる繰越額	不用額	予算額に比べ決 算額の増減	備 考		
			当 初 予算額	補 正 予算額	予備費支出 流用増減額	地方公営企業法第 24条第3項による 支出・財源	小 計						地方公営企業法第 26条第2項による 繰越額	合 計
収益的 収支	収 入	営業収益	719,454	0	—	0	719,454	—	719,454	719,454	—	—	0	うち仮受消費 税等
		営業外収益	384,455	0	—	0	384,455	—	384,455	385,530	—	—	1,075	
		特別利益	48,265	0	—	0	48,265	—	48,265	50,302	—	—	2,037	
		計	1,152,174	0	—	0	1,152,174	—	1,152,174	1,155,286	—	—	3,112	
	支 出	営業費用	857,123	0	0	0	857,123	0	857,123	822,343	0	34,780	—	うち仮払消費 税等
		営業外費用	101,701	1,572	2,512	0	105,785	0	105,785	105,783	0	2	—	
		特別損失	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	—	
		予備費	5,000	0	△ 2,512	0	2,488	0	2,488	0	0	2,488	—	
		計	963,825	1,572	0	0	965,397	0	965,397	928,126	0	37,271	—	

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分			予 算 額					決算額	翌年度 繰越額	不用額	予算額に比べ決 算額の増減	備 考		
			当 初 予算額	補 正 予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条による繰 越額						継続費通 次繰越額	合 計
資本的 収支	収 入	企業債	51,000	△ 17,300	—	33,700	0	0	33,700	33,700	—	—	0	
		出資金	5,232	0	—	5,232	0	0	5,232	5,232	—	—	0	
		計	56,232	△ 17,300	—	38,932	0	0	38,932	38,932	—	—	0	
	支 出	建設改良費	51,092	△ 17,298	0	33,794	0	0	33,794	33,794	0	0	—	うち仮払消費 税等
		企業債償還金	374,737	0	0	374,737	0	0	374,737	374,736	0	1	—	
	計	425,829	△ 17,298	0	408,531	0	0	408,531	408,530	0	1	—	3,072	

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額369,598千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金、減債積立金、建設改良積立金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補てんした。

## (3) 損益計算書 (単位：千円)

区 分	金 額
営業収益	660,050
営業費用	806,033
営業利益	△ 145,983
営業外収益	385,530
営業外費用	66,528
経常利益	173,019
特別利益	50,302
特別損失	0
当年度純利益	223,321
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	207,100
当年度未処分利益剰余金	430,421

## (4) 貸借対照表 (単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,747,569	3. 固定負債	2,327,966
(1)有形固定資産	7,978,473	(1)企業債	2,277,966
(2)無形固定資産	5,769,096	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	550,679	4. 流動負債	397,254
(1)現金預金	529,583	(1)企業債	372,262
(2)未収金	0	(2)未払金	20,276
(3)貯蔵品	21,096	(3)引当金	4,497
(4)前払金	0	(4)その他流動負債	219
(5)その他流動資産	0	5. 繰延収益	9,850,988
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,425,757
		6. 資本金	1,198,906
		7. 剰余金	523,134
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	467,481
資産合計	14,298,248	負債資本合計	14,298,248

## (5) 企業債の状況 (単位：千円)

区分	前年度末残高	令和元年度		年度末残高
		借入高	償還高	
企業債	2,991,264	33,700	374,736	2,650,228

## 2 令和2年度事業の状況 (令和2年9月30日現在)

## (1) 事業の概要

当組合の水道用水供給事業は、白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町の供給6市町村に対し、1日最大21,310 m<sup>3</sup> (年間7,778,150 m<sup>3</sup>) の水道用水を安全かつ安定的に送ることを最大の目的としていますが、そのため、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行っています。

また、当組合の芝原浄水場では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週1回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水(浄水場入口水)のモニタリング検査を週1回、堀川ダム流入水(堀川・横川)のモニタリング検査を月1回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。水道水の過去の検査結果、原水・堀川ダム流入水の検査結果については、当組合ホームページ(用水供給課)にも掲載していますのでご覧ください。



ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和2年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額(A)	調 定 額 支出負担行為額	執行済額(B)	予算残額	執行率B/A(%)	
資本的 収支	収入	107,100	0	107,100	0	0	107,100	0.00	
	計	107,100	0	107,100	0	0	107,100	0.00	
	支出	建設改良費	107,235	0	107,235	22,330	0	107,235	0.00
		企業債償還金	372,264	0	372,264	185,050	185,050	187,214	49.71
		計	479,499	0	479,499	207,380	185,050	294,449	38.59

※現計予算額(A)の内、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額372,399千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補てんするものとする。

(3) 損益計算書（上期分）

区 分	金 額(千円)
営業収益	330,025
営業費用	350,958
営業利益	△ 20,933
営業外収益	191,908
営業外費用	30,069
経常利益	140,906
特別利益	48,263
特別損失	0
上半期純利益	189,169
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
上半期末処分利益剰余金	189,169

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費のうち、上期分として推定される額を加えて作成。

(4) 貸借対照表（上期分）

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,476,049	3. 固定負債	2,327,964
(1)有形固定資産	7,779,361	(1)企業債	2,277,964
(2)無形固定資産	5,696,688	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	643,780	4. 流動負債	221,566
(1)現金預金	607,843	(1)企業債	187,215
(2)未収金	0	(2)未払金	1,147
(3)貯蔵品	20,699	(3)引当金	0
(4)前払金	9,868	(4)その他流動負債	33,204
(5)その他流動資産	5,370	5. 繰延収益	9,659,091
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,617,654
		6. 資本金	1,406,006
		7. 剰余金	505,202
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	449,549
資産合計	14,119,829	負債資本合計	14,119,829

※年度末に一括予算執行を行う固定資産及び繰延収益のうち、上期分として推定される額を加えて作成。

(5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和2年度		9月末現在残高
		9月末現在借入高	9月末現在償還高	
企業債	2,650,228	0	185,049	2,465,179